

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ）～（ホ）を読んで、文中の空欄（A）～（R）に該当する適当な語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

（イ）『後漢書』東夷伝には、紀元（ A ）年、倭の奴国の王の使者が後漢の都である（ B ）におもむいて、光武帝から印綬を与えられたとある。また「魏志」倭人伝には、争乱を経て女王に立てられた邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送り、魏から金印や（ C ）などを送られたと記されている。卑弥呼は晩年には（ D ）と争ったが、247年頃に亡くなった。中国の歴史書には、266年に晋の都（ B ）に、倭から遣使があったとする記事の後、約150年間は倭国に関する記載がみられなくなる。

- | | | | | |
|------|------|-------|-------|-------|
| 1 洛陽 | 2 38 | 3 伊都国 | 4 金銅像 | 5 帶方郡 |
| 6 長安 | 7 57 | 8 107 | 9 銅鏡 | |

（ロ）ヤマト政権が成立し、3世紀中頃から後半になると、前方後円墳をはじめとする古墳が出現するが、出現期に最大の規模をもつ古墳は、奈良県桜井市の（ E ）である。ヤマト政権は、対外的には朝鮮半島南部の鉄資源を確保するために、早くから（ F ）と密接な関係をもっていたが、（ G ）には、4世紀後半には南下策を進めていた（ H ）と交戦をしたことが記されている。

- | | | | | |
|-------|---------|--------|----------------|---------|
| 1 高句麗 | 2 大仙陵古墳 | 3 加耶諸国 | 4 好太王碑 | 5 那須国造碑 |
| 6 百濟 | 7 黒塚古墳 | 8 箸墓古墳 | 9 隅田八幡神社人物画像鏡銘 | |

（ハ）589年に隋が南北朝を統一したことは、東アジア諸国に影響を与え、倭でも国家組織の形成が進められた。（ I ）天皇の後であった推古天皇が即位すると、蘇我馬子や厩戸王らとともに、603年に（ J ）を定めるなど、中央行政機構の整備がなされた。また（ K ）によると、中国の地方官のような（ L ）、里長のような伊尼翼という地方組織が存在したとされている。

- | | | | | |
|------|---------|---------|---------|--------|
| 1 評督 | 2 敏達 | 3 欽明 | 4 憲法十七条 | 5 『宋書』 |
| 6 用明 | 7 『新唐書』 | 8 冠位十二階 | 9 軍尼 | |

(二) 701年正月、32年ぶりに任命された遣唐使は、(M) を使節団のトップとして、翌年6月に派遣された。『旧唐書』東夷伝日本条によると、(M) は学識や立ち居振る舞いから高く評価されたらしく、時の皇帝である(N) からは隣徳殿に招かれて宴を催されている。その後の8世紀の遣唐使は、約(O) 年に一度の割合で派遣され、唐の先進的な制度や国際的な文化をもたらした。

- | | | | | |
|---------|------|--------|------|--------|
| 1 阿倍仲麻呂 | 2 10 | 3 高宗 | 4 30 | 5 粟田真人 |
| 6 則天武后 | 7 中宗 | 8 吉備真備 | 9 20 | |

(ホ) 8世紀には、日本は唐のみならず、他の東アジア諸国とも通交した。727年に日本に使者を派遣した(P) は、唐・新羅との対抗関係から国交を求め友好的に通交した。(P) の都城跡からは、(Q) が発見されたことなどから、交流の痕跡が知られている。通交は10世紀初頭まで続いたが、926年に(P) は(R) によって滅ぼされた。

- | | | | | |
|------|------|--------|--------|--------|
| 1 高麗 | 2 金 | 3 和同開珎 | 4 万年通宝 | 5 乾元大宝 |
| 6 契丹 | 7 渤海 | 8 北宋 | 9 呉越国 | |

II 次の文章(イ)～(ハ)を読んで、文中の空欄(A)～(O)に該当する適切な語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、語群の中に適切な語句がない場合は0を、解答欄(解答用紙の右上)に記入しなさい。

(イ) 日本における養蚕・製糸・絹織物業は、古くは記紀の説話の中に見られ、渡来人である(A) によってその進んだ技術が伝えられたことが記されている。律令下にあつては、税目の一つである(B) の中に絹・絁が含まれ、中世においては年貢・公事の中に絹製品が含まれていた。ただ、17世紀末までは、(C) 織などの高級織物の原料には中国産の生糸が用いられており、国内の養蚕・製糸の技術はさほど高くはなかった。しかし、その後の貿易制限により生糸の輸入が抑制されるようになると、輸入代替として国内の養蚕・製糸業は高まりを見せ、江戸中期には輸入生糸に代わって国産生糸が主流となり、(D) の桐生をはじめ、地方の絹織物産地も発達した。

- | | | | | |
|--------|-------|------|------|-----|
| 1 阿知使主 | 2 上野 | 3 西陣 | 4 下野 | 5 租 |
| 6 松坂 | 7 弓月君 | 8 庸 | 9 王仁 | |

(ロ) 綿はインド原産と言われ、古くは (E) 編『類聚国史』に、三河に漂着した「崑崙人」(インド人と思われる)が綿の種子をもたらしたことが記されているが、これを機に綿作が日本に定着することはなかった。日朝貿易において綿織物が輸入されたが、主な用途としては兵衣・帆布などであり、主に麻の衣類を着ていた庶民の衣生活を根本的に変えることはなかった。なお、日朝貿易は (F) により一時中断したが、16世紀まで活発に行われた。日本での綿作は戦国期から江戸期初頭以降しだいに広がりを見せ、特に畿内では、鯛の大産地である (G) 産の干鯛などの金肥を用いて、盛んに綿が生産されるようになった。19世紀に刊行された (H) 著『広益国産考』には主要綿作地の状況が記されている。そして (I) 織・久留米絣・河内木綿などの綿織物の特産物も生まれた。

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|-------|
| 1 応永の外寇 | 2 九十九里浜 | 3 菅野真道 | 4 菅原道真 | 5 太地浦 |
| 6 刀伊の入寇 | 7 小倉 | 8 博多 | 9 宮崎安貞 | |

(ハ) 近世初期には日本の主要輸入品であった生糸は、その後の養蚕・製糸業の発達によって、幕末には主要輸出品に転換していた。(J) 年に横浜が開港されて間もないうちは、生糸の次に輸出額が多かったのは (K) であったが、輸入品では綿織物や毛織物が主であった。貿易全体としては1866年までは日本の (L) 超過が続いた。綿糸紡績業は、外国からの綿製品の流入に刺激され、明治以降機械化が進展し、1883年に設立された (M) 紡績会社を嚆矢に、大規模な紡績会社が次々誕生した。その結果、1890年には綿糸の (N) 高が (O) 高を追い越し、1897年には (L) 高が (O) 高を追い越した。一方、生糸製糸業は、波はありつつも輸出産業として生産高を拡大していくが、機械化の面では綿糸紡績業に比べると後れをとった。

- | | | | | |
|------|------|--------|--------|-----|
| 1 大阪 | 2 米 | 3 三重 | 4 生産 | 5 茶 |
| 6 輸出 | 7 輸入 | 8 1854 | 9 1858 | |

Ⅲ 次の文章の空欄（A）～（H）に該当する適当な語句を解答欄に記入しなさい。

戦後日本の政治・経済情勢は1990年前後に変化した。国際情勢の変化に対応し、PKO協力法成立後の1993年に自衛隊はアフリカの（ A ）に派遣された。同年には国内の政治情勢も転換点を迎えた。同年6月に自由民主党は分裂し、（ B ）らは新党を結成した。翌月の衆議院議員総選挙で自民党は大敗北を喫し、日本新党の（ C ）を首相として連立政権が発足した。1994年には（ B ）が首相となったが、短命に終わった。1996年には（ D ）が首相として連立政権を引き継ぎ、1997年に（ E ）法を成立させて行財政改革の基本方針を定めた。同年に景気は後退し、11月には1900年設立の（ F ）銀行が破綻した。こうした状況から1998年7月に首相となった（ G ）は、所信表明で自らの内閣を「経済再生内閣」と銘打ち、同年に（ E ）法停止法を成立させた。（ G ）内閣は自民党単独内閣として成立したが、1999年1月の第1次内閣改造で（ H ）党との連立政権となった。

Ⅳ 次の史料（イ）～（ヘ）を読んで、設問に答えなさい。

- （イ） a 奥州ニ申サレケルハ「抑 京都ノ式、何トカ思食サレ候。只事ニフレテ諸事 b 一家ヲ亡サルベキ御結構也。其故ハ去年 c 貴殿様我等ニ 仰付ラレテ d 与州ノ一跡ヲ失ハレ、又彼等ヲ御免アラバ……我等ヲ御退治ノ御沙汰ニ及ベキ御匠、色ニアラハレタリ。……一族 e 悉ク同心シテ国ノ勢ヲ引率シ、方々ヨリ京都ヘ貴登ラバ、今程誰カ在京ノ大名ノ中ニ当方ニ対揚シテ合戦ヲモ仕リ候ベキ」
- （ロ） 永享十三年正月廿九日…… e 畠山尾張守面目を失ひて没落し、舍弟左馬助ニ家を給ふ。……関東ヘ罷り向かふべきの由、f 仰せらるるに故障を申す。仍て夜前に家を退くべきの由、f 仰せ出さると云々。
- （ハ） 文安六年四月十六日……この夜、室町殿御元服なり。加冠は細川武蔵守勝元、管領なり……今度、鹿苑院殿の応安元年四月御元服の時、細川武州頼之が加冠たるの御嘉例なり。
- （ニ） 長祿二年四月七日……近日の御成敗、普広院の御代の如くたるべしと云々。
- （ホ） 長祿三年正月十四日……越州・尾州合戦なり。共に以て g 甲斐と h 右兵衛佐と いさかう 諍の故なり。主従の合戦、未曾有の次第なり。ぎょうき 澆季と謂ふべし。但し甲斐の事、室町殿御引汲の間、ややもすれば右兵衛佐方劣り見ゆるものなりと云々。
- （ヘ） 寛正四年十一月十九日……武衛御免と云々。i 伊勢守の申沙汰なり。g 甲斐・朝倉の生涯となるべしと云々。誠に以て天下の珍事たるべきか。

（原文を一部修正）

- （注） 武衛：右兵衛佐と同一人物 澆季：乱れた世、末世
引汲：支援・加勢すること 生涯：命を終えること、死を決するとき

- 問1 史料(イ)は『明德記』である。娘婿で甥にあたる人物から焚きつけられて挙兵する下線a「奥州」は誰か、氏名を記しなさい。
- 問2 下線bのような被害を、この前年に受けた大名の苗字を記しなさい。
- 問3 下線c「貴殿様」は、史料(ハ)の「鹿苑院殿」と同一人物である。その氏名を記しなさい。
- 問4 下線d「与州」の孫で、応仁の乱における一方の中心人物の氏名を記しなさい。
- 問5 応仁の乱において問4の人物と同じ陣営で奮戦した、下線e「畠山尾張守」の子の名前を記しなさい。
- 問6 2つの下線fで「仰せ」ているのは、いずれも史料(ニ)の「普広院」と同一人物である。その氏名を記しなさい。
- 問7 史料(ロ)の5ヶ月後、問6の人物が落命する事件が起こった。この事件の名称を記しなさい。
- 問8 下線g「甲斐」氏は下線h「右兵衛佐」の重臣である。この甲斐氏らに擁立されて越前・尾張・遠江の守護となり、右兵衛佐と家督を争った渋川氏出身の人物は誰か、氏名を記しなさい。
- 問9 下線i「伊勢守」の甥は伊豆の大名となり、その子は小田原に本拠を移して関東の戦国大名として成長する基盤を築いた。小田原に本拠を移した人物の氏名を記しなさい。
- 問10 史料(ハ)(ホ)の「室町殿」はいずれも足利義政である。史料(イ)～(ヘ)を踏まえて、義政の政治姿勢と応仁の乱勃発との関連性について80字以内で論じなさい。

V 次の史料を読んで、以下の設問に答えなさい。

此度、^a御蔵米取御旗本・御家人勝手向御救いのため、^b蔵宿借金仕法御改正仰せ出され候事。
一、御旗本・御家人^b蔵宿共より借入金利足の儀は、向後金壹兩二付銀六分宛の積り、利下ヶ申渡候間、
借り方の儀ハ、是迄の通り^b蔵宿と相対致すべき事。(中略)
一、旧来の借金は勿論、(c)ヶ年以前辰年まで二借請候金子は、古借新借の差別なく、(d)
の積り相心得べき事。(下略)

『御触書 (e) 集成』より
(原文を一部修正)

(注) 勝手向：暮らし向き 向後：今後 仕法：仕方

- 問1 この史料は西暦何年に出されたか、アラビア数字で答えなさい。
- 問2 この史料が出された時の将軍は誰か答えなさい。
- 問3 下線aについて、江戸にあった幕府最大の米蔵は、その地名から何と呼ばれるか答えなさい。
- 問4 下線bは、この場合、江戸では他に何と呼ばれたか答えなさい。
- 問5 (c)に入る漢数字を答えなさい。
- 問6 (d)に入る漢字2文字の言葉を答えなさい。
- 問7 (e)に入る年号を答えなさい。
- 問8 この頃の風紀取り締まりによって処罰を受けた、江戸に耕書堂を開いた版元は誰か答えなさい。
- 問9 この史料が出された理由とその結果について、100字以内で述べなさい。